

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編



作 ロナウジーニョ太郎

No.46



くにさきの文化財

国指定重要無形民俗文化財

春を呼び福を招く鬼「修正鬼会」 2月18日(木) 成仏寺

修正鬼会は、修正会と鬼会が結びついた行事です。修正会は日本古来の正月行事が仏教化したもので、五穀豊穡を祈る農耕儀礼です。鬼会は、節分の豆まきとして習俗化していますが、もともとは大晦日に悪疫をもたらす鬼を追い払う行事でした。修正鬼会の鬼たちは幸福を招く鬼で、境内を飛び出し、村里の家々を訪問、読経し酒食のもてなしを受けます。もともと「鬼」(仮面劇)は、祖先を模した仮面をかぶった人々を意味し、人々に幸せをもたらすために、邪をなすものを追い払う存在であったといわれます。

修正鬼会には、男女の姿をした鈴鬼と、まさに鬼の姿をした荒鬼が登場します。鈴鬼は、修正会で行われた死者の魂をまつる行事のなかで、霊魂を表現したものと伝えられています。一方、荒鬼には、災払鬼・荒鬼・鎮鬼の3鬼がいます。災払鬼は宇佐八幡神が姿を変え六郷満山を開いたという仁聞菩薩あるいは愛染明王の化身、荒鬼は、仁聞菩薩とともに六郷満山の地で修行したとされる法蓮または不動明王の化身、成仏寺の鎮鬼は、本尊の千手観音の化身といわれています。

夜を徹して駆け巡る荒鬼の「鬼ワヨライシヨワヨ」の呼び声が山里にこだますると国東は冬から本格的な春を迎えることとなります。本年の修正鬼会は、旧暦正月5日にあたる2月18日(木)に成仏寺で行われます。



▲成仏寺と岩戸寺で1年交代で行われます

問い合わせ 国東市歴史体験学習館 ☎0978-72-2677



火坂 雅志(ひさか まさし)小説家
1956年、新潟市生まれ。1988年『花月秘拳行』で作家デビュー。「新潟日報」などに直江兼続の生涯を描く『天地人』を連載。NHKドラマ『天地人』の原作となる。

問い合わせ
国東市教育委員会国見分室
☎0978-82-1115

チケット販売所
みんなんかん、竹田津・熊毛改善センター、アストくにさき、武蔵・安岐中央公民館

日時 1月30日(土)
午後7時開演
(午後6時30分開場)
場所 国見生涯学習センター
みんなんかんホール
入場料 500円
※小学生以下は無料

第9回世界に聴くみんなんかん講演会
火坂雅志講演会
「天地人を語る
『直江兼続の義と愛』」